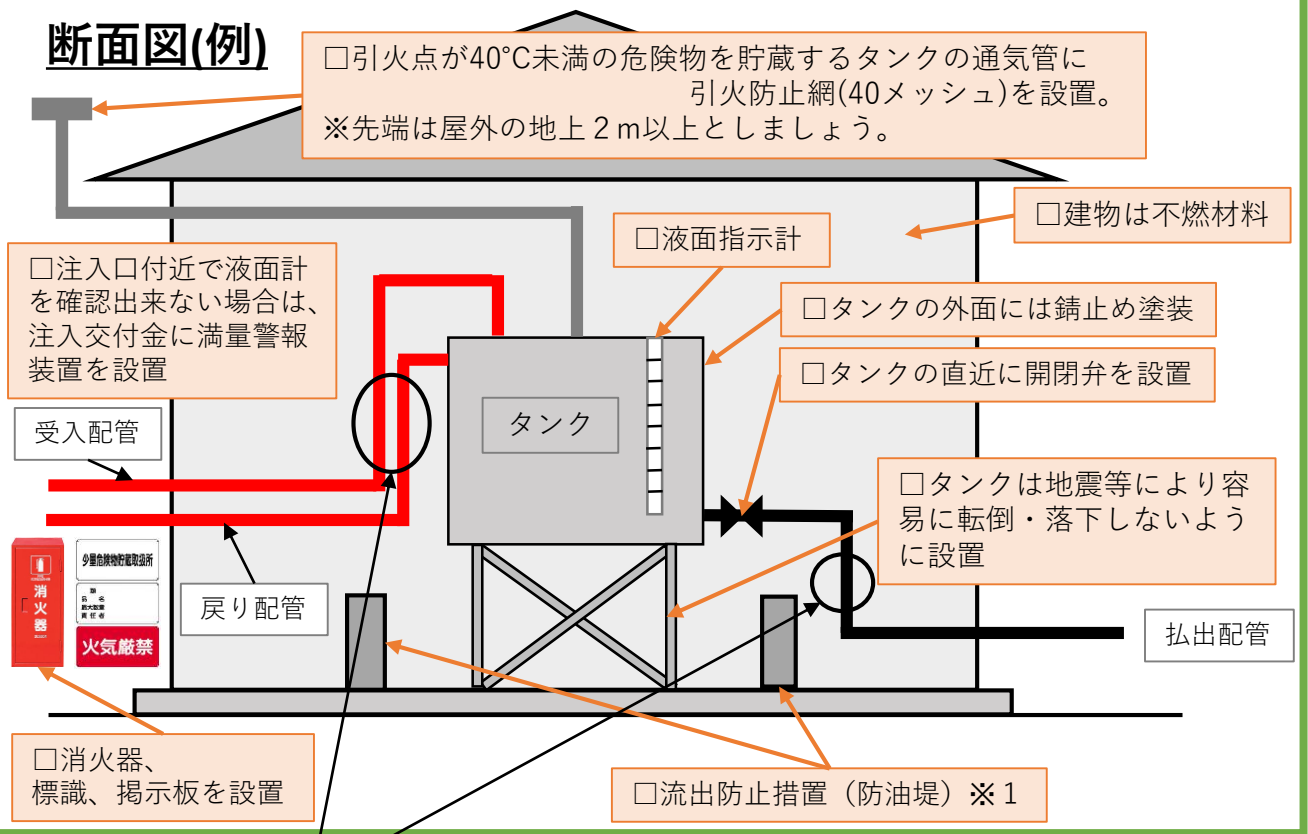


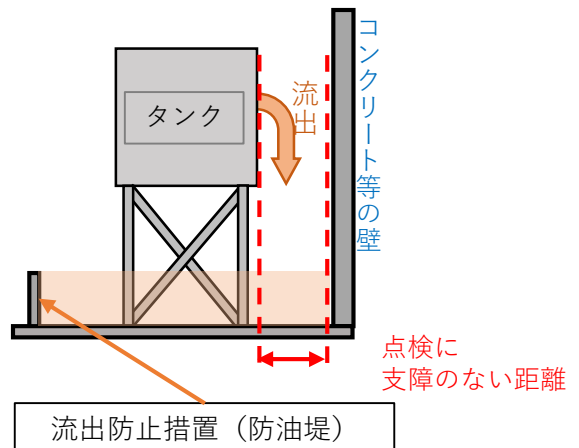
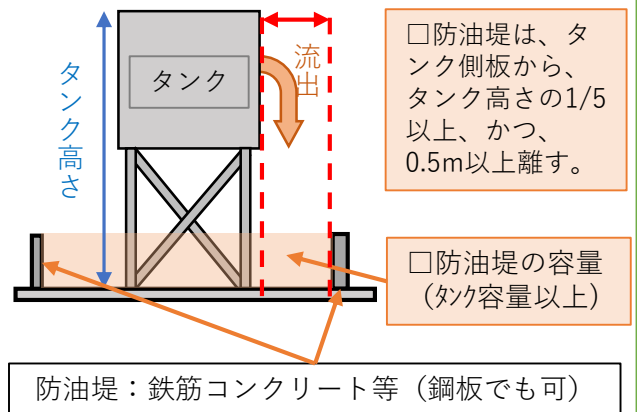
少量危険物屋内タンク貯蔵所

1. 施設の構造・設備基準（火災予防条例第31条の4）

断面図(例)

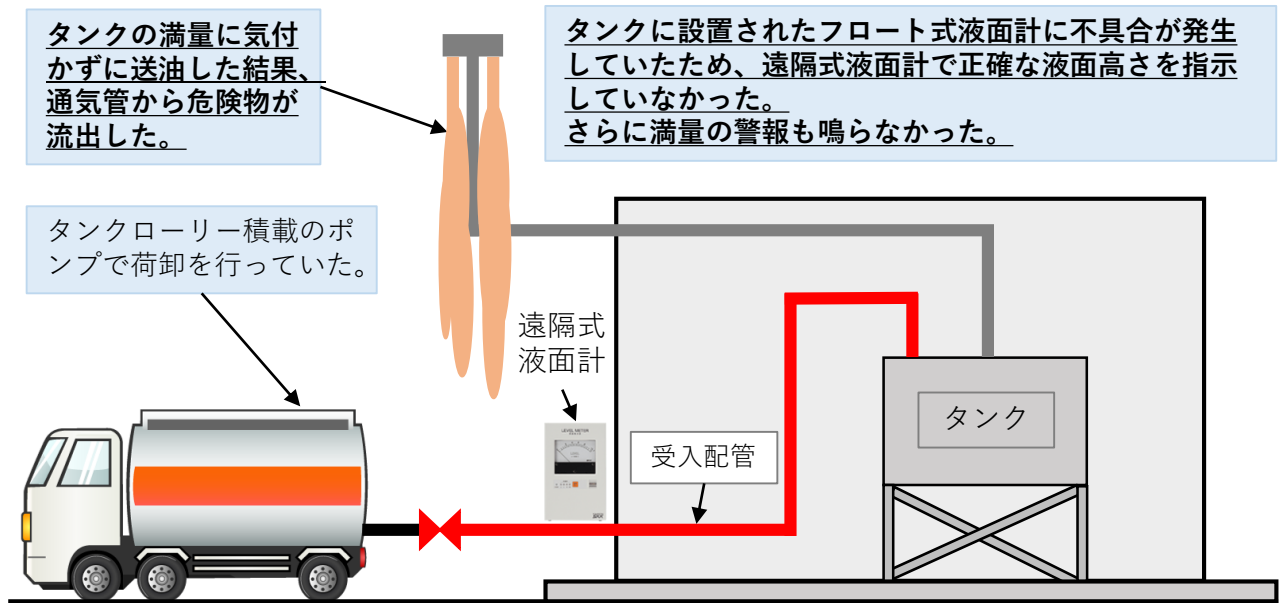


□地震等により当該配管とタンクの結合部分に損傷を与えないように、フレキシブル配管等を設置



2. 事故事例及び貯蔵・取扱い時の注意点

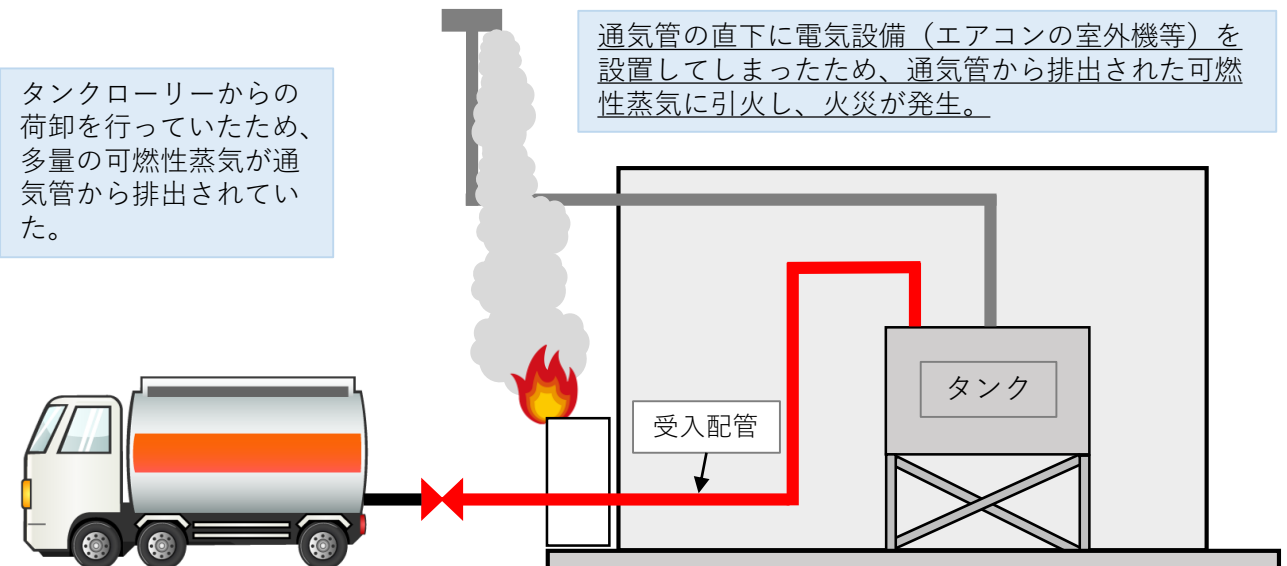
液面計の故障に起因した通気管からの危険物流出事故



⚠ この事故での注意点及び教訓等

- ・ 日々の点検や、受入・払出時に液面計をしっかりと確認していれば、故障に早く気付くことが出来たはずですが。
- ・ 荷卸しの際は、タンクローリーの運転手だけで作業せずに、施設側の担当者も立ち会うようにしましょう。

通気管の直下に設置した電気設備が原因となり可燃性蒸気に引火



⚠ この事故での注意点及び教訓等

- ・ 施設を管理している担当者が、通気管がどのようなものか理解していれば、このような危険な位置に電気設備を設置することは無かったでしょう。各設備の機能や危険物の特性について平時から理解しておく事が重要です。